

女性や若者も活躍中！

「消防団員」の活動を紹介



普段は別の仕事をしていますが、いざという時は私たちのまちを守る消防団。身近な地域貢献として活躍する二刀流のヒーローたちと、消防団のあれこれを紹介します。



団員インタビュー

第13分団所属 中村 修啓さん(25)



私の二刀流

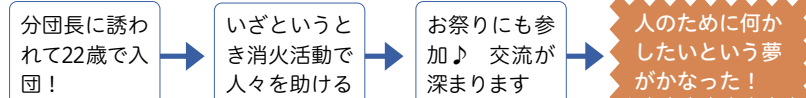


現場に出動！

地域の安全・安心を守ります。

庭を造ったり、庭木の手入れをしています。

《人のために活動できる消防団》



22歳のときに近所に住んでいる分団長に誘われて入団しました。小さい頃から人助けをしたい、人のために何かしたいと思っていたので、迷いはありませんでした。災害時は、現場で判断し、臨機応変な行動が求められるため、実際の消火活動をイメージして日々訓練しています。火災の規模が大きいと鎮火に時間がかかるため、体力的につらいときもありますが、町内の人から感謝されると、やってよかったなと思います。消防団は、町内会の一員としてお祭りにも参加するなど楽しいことも多いため、少しでも興味がある人は気軽に入団してほしいです。

第22分団4部所属 吉田 千早さん(19)



私の二刀流

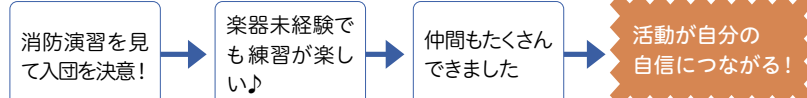


ラップ隊は号令など伝達の役目があります。

生演奏はカッコイイですよ！

苗木の植え付けや、木の伐採をしています。

《人として成長できる消防団》



高校生のとき、消防団に入っていた知り合いから話を聞いて興味を持ち、消防演習の見学で消防団のカッコイイ姿を見て入団を決めました。ラップ隊に所属し、入団するまで楽器の経験はなかったものの、先輩の優しい指導のおかげで演奏ができるようになりました。花巻市で動いているため、仕事後のラップ隊の活動と分団の会議への移動は大変ですが、練習するたびに上達していくのが分かりますし、他の団員の皆さんと交流するのは楽しいです。多くの人と関わるうちに、苦手だったコミュニケーションを積極的に取れるようになるなど、私にとって消防団は人としても成長できる場所になっています。

市消防団協力事業所表示制度

市では、2人以上の従業員が消防団に入団しているか、従業員の消防団活動に積極的に配慮しているなど、市消防団に協力する事業所に、「消防団協力事業所表示証」を交付しています。地域への社会貢献を広く周知し、地域住民への理解を深めることで、消防団員の入団数を増やすための制度です。協力事業所一覧や申請方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。【広報ID】1000961



消防団活動に協力し、地域とつながりましょう！

協力事業所インタビュー 株式会社 藤原 猛 代表取締役

市消防団協力事業所に認定されて今年で10年目。これまで、地元の消防団に訓練などのため、会社の土地を貸したり、従業員が消防団活動に参加できるよう配慮したりしています。協力事業所として地元へ貢献できることはうれしいことであり、誇りでもあります。パトロールを欠かさず、地域の安全を守ってくれている消防団には、これからもできる限り協力していきます。



消防署員と違う？

もっと知りたい 消防団 Q&A

メリットは？

消防団員6年目の私がお答えします



Q1 消防団員と消防署員はどのように違うのですか？

A 消防署員は、消防業務を専業としているのに対し、消防団員は、本業である会社員や自営業、主婦などの傍ら、火災・災害時には職場や家庭の理解を得て現場へ駆けつけ、消火・救助活動を行います。
 ▶消防団員は特別職（非常勤）の地方公務員です。
 ▶退職時には、勤務年数などに応じて退職報償金が支給されます。
 ▶消防団活動により負傷した場合は、公務災害補償制度に基づいた補償が受けられます。

Q2 市内には何人の団員がいますか？

A 本市の消防団員は4月1日時点で、男性1006人、女性82人の合計1088人。地域に必要な団員数として定められている定員は1499人なので、市の地域防災の中心的役割を担う消防団員が不足しています。

Q3 どんな活動をしていますか？やはり体力が必要なのでしょうか？

A 基本的に各地域の分団単位で、火災や大規模災害が発生したときに団員が出動します。災害現場だけでなく、戸別訪問による防火指導や地域行事の見回りなど、地域に密着した活動を幅広くしており、体力に自信のない女性団員なども活躍しています。
 このほか、市消防団にドローンを使った航空支援隊や救助用ボートを使った水難救助隊などを編成し、先進的な防災活動に取り組んでいます。また、消防団の式典や行事で演奏するラップ隊は団員の士気を高めています。



水難救助隊の訓練の様子



市消防演習でのラップ隊の演奏の様子



ドローン 探索用の航空支援隊の訓練の様子

Q4 いつ、訓練や活動をしているんですか？

A 火災消火のためのポンプ操作訓練や大規模災害に備えた救助・救出訓練、負傷者の応急救護処置に対応するための研修会などを行っています。休日や仕事が終わった後などにそれぞれの仕事や家庭などの都合に合わせて参加し、無理のない範囲で活動しています。

Q5 消防団員になると何かメリットがありますか？

A いざという時に役立つ災害対応の知識を得られるだけでなく、さまざまな職種や世代の人との関わりができるため、地域とのつながりも深まります。また、「いわて消防団応援の店*1」を利用すると特典や割引などのサービスを受けられます。学生は、「盛岡市学生消防団員活動認証制度*2」により、就職活動などで地域社会に貢献してきた実績をアピールできます。航空支援隊活動のためのドローンの操縦資格やポンプ車の運転に必要な準中型免許取得のための助成を受けられる場合もあります。

地域の安全・安心のために頑張る消防団員を応援！

*1 /いわて消防団応援の店

消防団員を地域ぐるみで応援するため、団員やその家族を対象に、割引などのサービスを提供している事業所や店舗のことです。

▶登録店舗など詳しくは、県ホームページをご覧ください。



*2 /盛岡市学生消防団員活動認証制度

地域防災の担い手となる若手層への入団促進のための制度。大学生や大学院生、専修学生、専門学生が消防団員として地域社会へ貢献した実績を企業などにアピールできます。認証された学生には、認証状・認証証明書が交付されます。

就職活動を支援！

Q6 体験や見学はできますか？

A 「興味はあるけど、実際にどんな活動をしているか分からない」「自分の体力で活動できるか不安」。そんな不安や疑問にこたえるため、市消防団では入団体験や訓練の見学を実施しており、「訓練の様子」や「消防団の雰囲気」を体感できます。

▶消防庁動画チャンネル(ユーチューブ)で消防団の活動の様子を見ることができます。



今あなたの力が必要です

地域の安全・安心を守る消防団員として活動してみませんか。
 【対象】市内に在住または勤務する、18歳以上の健康な人
 【問】消防対策室 ☎626-7404

市長コラム

「安全・安心なまち もりおか」を守る

消防団員の皆さんには、日々の仕事の傍ら、市民の生命・身体および財産を守るため、消火活動や警戒活動など昼夜を問わず献身的に消防団業務に取り組んでいただいています。新型コロナウイルス感染拡大により、訓練や研修などの活動が思うようにできない状況ですが、コロナ禍でも災害は待ってくれません。これまで以上に力を合わせ、「安全・安心なまち もりおか」を一緒に守っていきましょう。

盛岡市長 谷藤 松明

